

しし座流星群を見よう！



<しし座流星群>

毎年 11 月 14 日から 25 日にかけて見られる「しし座流星群」がやってきます。1 時間に数個程度と華やかではありませんが三大流星群とともに有名な流星群です。

今年のしし座流星群は、11 月 17 日から 19 日にかけての夜が流れ星を多くみられる予想です。18 日の朝 7 時が、流星群のピークですので、18 日の明け方にかけて流れ星が多く出現しそうです。



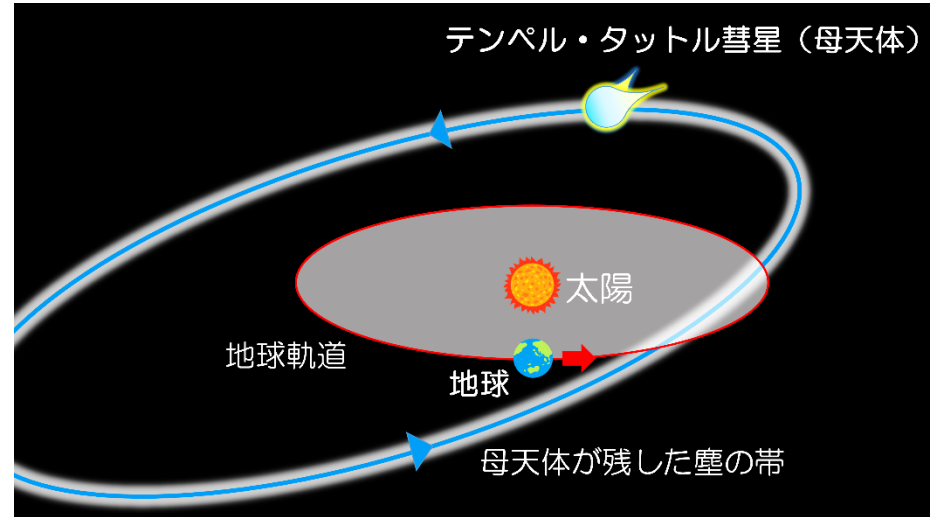
上図は 18 日午前 4 時の星空です。“東”にしし座が昇ってきています。おおぐま座の北斗七星などを目印に東方向を見上げると「しし座」を見つけられます。大きな？(はてな) マークを裏返しにしたような星の並びがしし座の目印です。胸元に輝く 1 等星”レグルス”の近くにしし座流星群の「放射点」があります。

流星群の流星は、放射点を中心に放射状に出現します。つまり、夜空のどこにでも流星は出現します。でも、周りをキョロキョロしてしまうと流星を見逃してしまいます。1 つの場所を決めたら、根気強く 1 点を眺めてくださいね！

さあ、一足早い春の夜空に願い事をしに出かけてみませんか！？レッツゴー♪

<流れ星って…！？>

流れ星は、宇宙にある塵^{ちり}が高速で地球の大気とぶつかって光り出す現象です。特に明るい流れ星は”火球^{かきゅう}”と呼ばれます。そして、大きな火球になると燃えつきずに地上に落ちてくる場合があります。これが「隕石^{いんせき}」です。



<流れ星のもと”塵”はどこからくるの！？>

流れ星は宇宙の塵^{ちり}だと言いましたが、いったいどこからやってくるのでしょうか？実は、流星群には塵を運んでくる”彗星(ほうき星)^{すいせい}”と呼ばれる星が存在します。この彗星が通った後にはたくさんの塵^{ちり}がばらまかれています。そこに、私たちの暮らす地球が飛び込んでいくと一度にたくさんの塵が地球の大気に入ってくるためにたくさんの流れ星、つまり流星群となって見えるというわけです。

<観察のポイント>

- ◆あきらめずに決めた場所をじっくり観察しましょう！
- ◆肉眼で一方向を観察しましょう！
- ◆できれば街灯かりの少ない場所を選んで観察しましょう！

※小・中・高校生のみなさんは必ず大人のひとと一緒に出かけましょう。

